

令和7年度第2回湖東圏地域医療構想調整会議 議事概要

令和8年2月

出席者	辻 裕	彦根医師会 会長
	若松 健治	彦根歯科医師会 会長
	近藤 崇弘	彦根薬剤師会 会長
	藤田 晶子	滋賀県看護協会第5地区支部 第5地区理事
	中野 顯	彦根市立病院 院長
	布目 雅稔	彦根中央病院 理事長・病院長
	高橋 雅士	友仁山崎病院 病院長
	難波江 正浩	豊郷病院 病院長
	高田 忍	平和堂健康保険組合 常務理事
	松村 直和	全国健康保険協会滋賀支部 保健グループ長
	鈴木 則成	彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 代表理事
	笹原 智栄	彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会 会長
	吉田 幸恵	滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会第5地区支部 代表者(医療構想調整会議担当)
	伊藤 文人	彦根医療福祉推進センター 所長
	大久保 裕次	彦根市 福祉保健部 部長
	木村 美紀	愛荘町 福祉政策監
	小西 直美	豊郷町 医療保険課 課長
	丸澤 俊之	甲良町 保健福祉課 課長
	林 優子	多賀町 福祉保健課 課長
	平野 雅穂	滋賀県彦根保健所 所長

事務局 滋賀県彦根保健所

会議内容

(1) 紹介受診重点医療機関について 資料1

【意見なし】

(2) 湖東圏域の病床状況について 資料2

・湖東圏域の病床状況について、急性期病床が高度急性期や回復期機能を代替せざるを得ない状況により、効果的・効率的な医療・看護提供や病床稼働に影響が出ていないかを検証したり、高度急性期機能のあり方も検討する必要があるのではないか。

・湖北圏域における病床数確保や病院再編の動向が、湖東圏域の病床機能維持や役割分担にどのような影響を及ぼすのかについて、湖東圏域としての見通しや考え方を整理しておく必要があるのではないか。

・周産期医療および小児救急医療については滋賀県保健医療計画において4ブロック化とされているところであるが、湖東圏域地域医療構想における病床機能の整理の中で、当該分野の現状、内訳、病床数不足への影響等がどのように位置付けられているのかを明確に示していただきたい。その上で、本調整会議においても課題の共有や必要な検討、関係する他の協議体との調整を行う必要があるのではないか。

・定例の病院ネットワーク会議等で各病院の状況を聞かせていただく限りでは、病病連携や、機能分化は進んできているのではないかと考えている。「湖東圏域病床機能の分化・連携」の③のとおり、施設を含む在宅への移行に課題があり、介護の供給体制を整えることはもちろんのこと、当圏域、特に4町においては、訪問診療医も不足していることから、在宅医療の供給体制も整えていく必要があるのではないか。